



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
発行責任者 宮島喜文
編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

- P1 【日臨技学生表彰】各臨床検査技師養成施設から推薦された卒業生を表彰
P2 都道府県技師会 各地での取り組み (栃木県編)
P3 ◆私たち、臨床検査技師の認知度向上のためのポスターの原案を募集します！◆
/大規模災害時の支援人材育成講習会 (その1) を開催中

【日臨技学生表彰】各臨床検査技師養成施設から推薦された卒業生を表彰

日臨技学生表彰は、該当年度に卒業する学生の中から、当会が主催・共催又は後援する各種事業で優れた活動実績を残した方、学業成績が特に優秀で他の学生の模範となる方、ボランティア等の社会活動において顕著な功績を残した方を各臨床検査技師養成施設から1名推薦いただき、表彰するものです。受賞者には賞状と記念品が贈呈されます。令和5年度は全国の養成施設からご推薦いただいた学生74名に対し日臨技学生表彰が贈られました。



都内で行われた卒業式に宮島会長が出席
受賞者に直接、賞状を贈呈



宮島会長による祝辞

令和6年3月12日に第一ホテル東京両国 清澄ホールにて臨床検査技師養成校の卒業式が開催され、宮島会長が出席し、学業が優秀な卒業生に対し日臨技学生表彰として賞状と記念品を贈呈いたしました。また、宮島会長からは祝辞として、我が国の少子・高齢化、そして人口減少により社会構造が大きく変貌することや医療技術の進歩が予測される中でも、本日の卒業生には社会人として責任を果たし、医療人たる臨床検査技師としての誇りを持ち続け、知識・技術の向上を図り、且つ感性を磨き、豊かな人生を送られるようにエールを送られました。

都道府県技師会 各地での取り組み(栃木県編)

全国47都道府県それぞれに臨床（衛生）検査技師会があります。各都道府県技師会では日臨技と連携した活動のほか、地元の医療関連団体や自治体、時には企業とも協力して地域に根差した独自の活動を行っています。今回は、栃木県臨床検査技師会の20代～30代が活躍する青年部「寺子屋とちぎ」の活動について紹介いたします。

「寺子屋とちぎ」の紹介

一般社団法人 栃木県臨床検査技師会
青年部部長 吉澤 友章

栃木県臨床検査技師会（栃臨技）の青年部は2019年に発足し、20～30代の若手技師で構成されています。会員の皆様に親しみを持ってもらい、より身近な存在になれるようメンバーで「寺子屋とちぎ」と名付けました。私たちは主に「若手技師の技師会活動への参画」「他施設の技師との交流」といったテーマを掲げており、若手のうちから施設を超えた横の繋がりをつくることを大切にしています。

「寺子屋とちぎ」の運営面での特徴は、ある活動や企画に対して責任者を2名配置することです。これは誰か一人に責任や負担をかけ過ぎないようにするため、また責任者をメンバーそれぞれが経験することで活動の運営方法を学べるのではないかと考えたからです。

2019年に発足してすぐにコロナ禍となったため、はじめは活動中止となり、その後手探りではありますが「寺子屋とちぎ」だからこそできる活動をしてきました。そのひとつが、栃木県医学検査学会のシンポジウム企画で行われた検査室紹介です。当初は実際に検査室を見学するツアーなどを企画しようとしていましたが、コロナ禍で実現するのは厳しいということもあり、シンポジウム企画に切り替えたという経緯があります。施設の異なる4名の技師がそれぞれの検査室での仕事内容や業務で取り入れている工夫、また日勤・夜勤帯でのタイムシフト等を紹介しました。自施設以外の検査室を知ること、自分たちの強みや特徴を再認識することができるだけでなく、日頃の業務における改善のヒントを見つけられる良い機会になったのではないかと思います。この企画の後に、多くの方々から実際に他施設見学を望む声が上がったことから、当初企画予定であった検査室ツアーはできるだけ早くで実現していきたいと考えています。

技師会活動にも「寺子屋とちぎ」として積極的に参加し、特に栃臨技主催の「高校生向け臨床検査技師講座」では、臨床検査技師を進路のひとつに考えている高校生に向けて、進路選択のアドバイスをさせていた



高校生に向けて進路のアドバイス



血液検査の紹介

だきました。学生からの質問に答えたり、実際に検査室を案内して、日頃我々がどういった検査をしていて、その検査が患者さんのどういった病気の発見に繋がるのかを説明したりしました。学生たちが理解しやすいように、技師が実際にエコー画像を描出したり、顕微鏡を覗かせて細胞を見せたりと様々な工夫を凝らしたイベントになったと思っています。参加された高校生からは、年の近い若い方も多く話しやすかったという意見があり、若手技師が参加したことはとても意味あったと実感しています。

「寺子屋とちぎ」としての活動は他にも「臨床検査技師アピール活動」と題してYouTube進出を果たし、これまでにない活動を行ってきました。これもひとえに、「寺子屋とちぎ」の活動を温かく見守ってくださる理事の方々、会員の皆様、そして「寺子屋とちぎ」を支えてくれているメンバーがいてのことだと思っています。今後はより若手技師のニーズに沿った企画を考え、横の繋がりをつくっていき、栃臨技を盛り上げていきたいと考えています。

◆私たち、臨床検査技師の認知度向上のためのポスターの原案を募集します！◆

昨年、一般国民1,000名へのアンケート調査を実施したところ、私たち臨床検査技師の認知度は22.7%でした。患者や健診受診者の皆さまを通して臨床検査技師を広く知ってもらおうべきと考えました。

- 【目的】 一般国民への臨床検査技師の認知度向上
- 【実施方法】 検体採取や生理検査の際、患者や健診受診者に声掛けし、職種である臨床検査技師を名のすることを継続的に実施する。
- 【応募要領】
- ①募集期間：2024年4月1日（月）～5月31日（金）
 - ②想定印刷サイズ：A3またはB4
 - ③掲示場所：検査室事務室、採血ブースのバックヤードなど
 - ④内容：ポスターの原案及びキャッチコピーを募集
臨床検査技師の認知度向上を喚起するもの、イラストや写真（注1）、スローガンなど自由に組み合わせ可（注1：ネットからの画像やキャッチコピーの転用に注意、原則利用不可、二次利用などの使用許諾が証明できるものは可）
 - ⑤ファイル形式：PowerPointまたはWORD
 - ⑥選考基準：日臨技広報委員会にて選定、執行理事会議及び理事会を経て決定
 - ⑦表彰（賞金）：最優秀賞1作品 10万円 優秀賞2作品 3万円
 - ⑧応募書類：下記メールアドレスにメールにて依頼
 - ⑨応募先：masuoka-masatsugu@jamt.or.jp

問い合わせ

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
 担当執行理事 宮原 祥子
 事務局 広報課 増岡 雅嗣
 〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7
 TEL 03-3768-4722
 FAX 03-3768-6722
 E-MAIL masuoka-masatsugu@jamt.or.jp

大規模災害時の支援人材育成講習会(その1)を開催中

大規模災害時には会員施設における臨床検査機能を維持することの他、被災地の求めに合わせてJ-MAT（日本医師会）や日本赤十字等と共同し、活動できる臨床検査技師が必要となります。本講習会は、いっどこで起こるかわからない災害に備え、全国的な支援人材の育成を目的としています。臨床検査技師として災害対策本部で支援活動ができる知識の習得を目標とし、大規模な災害発生時における対応の原則・概念、情報管理や資源管理に関する知識を学んでいただきます。

- 会 期 : 令和6年4月1日（月）～10月31日（木）
 会 場 : Web開催（日臨技Web研修会システム）
 受講資格 : 日臨技会員
 受講料 : 無料
 点数付与 : 生涯教育研修制度 基礎教科 20点
 申込・受講方法 : 会員専用ページより①事前参加申込み
 → ②事前参加申込済一覧から受講



（編集後記）今年の桜は例年より遅くなった。いよいよコロナ感染症も5類へと扱いが変更され、久しぶりにお花見も楽しみな季節となった。

本号では「日臨技学生表彰」「都道府県技師会各地での取り組み（栃木県）」をお届けしました。今後も都道府県各地での取り組みと題して、地元での積極的な活動や若手臨床検査技師の活躍などを継続して掲載する予定です。各都道府県における様々な活動について原稿をお寄せください。よろしく願いいたします。

（多田）